

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月5日

上場会社名 株式会社ぐるなび 上場取引所 東
コード番号 2440 URL <https://corporate.gnavi.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 杉原 章郎
問合せ先責任者（役職名） 専務執行役員（氏名） 山田 晃久（TEL）03-6744-6463
半期報告書提出予定日 2025年11月6日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	6,374	6.6	105	△62.3	101	△62.0	128	△48.0
2025年3月期中間期	5,978	5.8	278	—	266	—	247	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 204百万円（△15.0％） 2025年3月期中間期 240百万円（—％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	2.28	2.28
2025年3月期中間期	3.43	3.43

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	11,114	5,181	46.3
2025年3月期	11,128	4,978	44.3

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 5,145百万円 2025年3月期 4,926百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	14,900	10.7	300	14.3	210	△19.7	234	10.9	4.15

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	56,903,800株	2025年3月期	56,903,800株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	508,662株	2025年3月期	501,462株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	56,404,549株	2025年3月期中間期	56,456,141株

(注) 2026年3月期中間期の期末自己株式数は、他人名義所有株式3,000株を含んでおります。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は添付資料4ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間の我が国経済は米国の通商政策等による影響が一部にみられたものの、緩やかな回復基調が続きました。当社サービスの対象である外食産業においては、前年同期と比較し、消費者の外食支出が増加傾向にあり、一般社団法人日本フードサービス協会の外食産業市場動向調査によると飲食店の売上高は客数・客単価双方の拡大により増加しましたが、原材料価格の高騰や人材不足等、経営環境には厳しさもみられています。

当社は前期、中期事業方針(2024年3月期から2026年3月期)に掲げる2年目での黒字転換を果たし、コロナ禍以降のコスト抑制による赤字縮小フェーズから売上拡大による利益拡大フェーズへと移行いたしました。この利益拡大のペースを中長期にわたって加速し企業価値の拡大へとつなげるべく、当期においては、当社独自の強みである「サポート力」を最大限に発揮できる飲食店支援事業に注力することを基本方針としており、具体的には「楽天ぐるなびの強化」「マーケティングエージェントの拡大」、そしてこれら2つの施策の推進力や実効性を高める「商品造成力の向上」に重点的に取り組むこととしております。

当中間連結会計期間においては、上記重点施策に携わる営業、企画、運用等の増員を図り、今後の売上拡大に向けた体制を強化いたしました。「楽天ぐるなびの強化」に関しては、楽天ID連携会員による当社サイトのより一層積極的な活用と、それによる中長期的な予約送客力の向上を目的とし、楽天カード株式会社と協業し、同社が楽天カード会員に対し多様な特典を提供する「楽天カードプレミアムプログラム」と「楽天ぐるなび」のユーザー会員向けロイヤリティプログラムである「幹事ランク制度」との連携を10月より開始することを決定したほか、本連携を記念したポイント付与キャンペーンを実施いたしました。また、「マーケティングエージェントの拡大」については、5月より Google ビジネスプロフィール (GBP) へのクーポン情報の提供を開始し、加盟飲食店のGBPを通じた集客支援を強化しております。なおGBPの運用支援については、サービスの利用店舗数が増加基調であることに加え、2024年7月に実施した商品刷新が奏功し、平均利用単価が上昇しております。また、拡大するインバウンド需要の取り込み支援として、「ぐるなび外国語版」の店舗ページや各種SNSで利用可能な訪日外国人向けショート動画の作成支援サービスも整備いたしました。加えて「商品造成力の向上」においては、2024年8月に本格始動した「ぐるなびNextプロジェクト」の下、生成AI技術の活用を進めており、業務の生産性や創造性の向上を通じ、商品造成サイクル「創って、作って、売る。」の精度向上を図っております。

当中間連結会計期間の売上高は6,374百万円(前年同期比6.6%増)となりました。事業区分別の売上高は、下表のとおりです。

(単位：千円)

区分		前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	前年同期比 増減率
基盤事業	飲食店販促サービス			
	ストック型サービス	4,436,701	4,799,307	+8.2%
	スポット型サービス	653,568	558,742	△14.5%
	小計	5,090,270	5,358,049	+5.3%
	プロモーション	385,039	415,900	+8.0%
	小計	5,475,310	5,773,949	+5.5%
関連事業		503,385	600,690	+19.3%
合計		5,978,695	6,374,640	+6.6%

飲食店販促サービスのうち、ストック型サービスについては、ARPU(1店舗あたり契約高)の伸長に加えストック型有料加盟店舗数が緩やかながらも増加したことにより、前年同期比8.2%増となりました。一方、スポット型サービスについては、営業活動においてストック型での受注を重視した結果、前年同期を下回りました。これにより、全体では前年同期比5.3%増となりました。

プロモーションについては、省庁・自治体や食関連企業からのプロモーション売上を中心に前年同期を8.0%上回り、関連事業についても、2024年4月に開店した厨房機器販売店「テンボスぐるなび」の売上伸長が牽引し前年同期比19.3%増となりました。

費用については、売上拡大に伴う原価の増加のほか、上述の人員増強による人件費や採用費、固定資産の増加に伴う減価償却費の増加等により前年を上回りました。

以上の結果、営業利益は105百万円（前年同期比62.3%減）、経常利益は101百万円（前年同期比62.0%減）となりました。なお、特別利益に投資有価証券売却益30百万円を計上したこと等から、親会社株主に帰属する中間純利益は128百万円（前年同期比48.0%減）となりました。当中間連結会計期間の各利益については、上述の人員増強をはじめとする成長投資や減価償却費の増加等により前年同期比で減益となりましたが、2025年5月9日に公表いたしました連結業績予想を上回る結果となりました。連結業績予想と実績との差異については、本日公表いたしました「2026年3月期第2四半期（中間期）業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

（2）財政状態に関する説明

① 財政状態

当中間連結会計期間末の総資産は、流動資産が現金及び預金と売掛金の減少を中心に前連結会計年度末より606百万円減少した一方で、固定資産がソフトウェアの積み上がりを主因とし同592百万円増加したことから、同13百万円減少し11,114百万円となりました。

負債は、未払金や賞与引当金の減少等により、前連結会計年度末より217百万円減少し5,933百万円となりました。

純資産は、主に親会社株主に帰属する中間純利益128百万円により、前連結会計年度末より203百万円増加し5,181百万円となりました。

なお財務面での取り組みとして、前連結会計年度において黒字転換を果たしたことを踏まえ、2025年2月に調達した短期借入金1,200百万円について長期借入金への借り換えを行ったほか、2024年9月に設定したコミットメントライン3,000百万円についてアンコミットメントラインへと変更しております。

（単位：百万円）

	前連結会計年度末	当中間連結会計期間末	増減
総資産	11,128	11,114	△13
負債	6,150	5,933	△217
純資産	4,978	5,181	+203
自己資本比率	44.3%	46.3%	+2.0pt

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、182百万円の収入（前年同期は714百万円の収入）となりました。これは主に、減価償却費の計上のほか、契約負債の増加、売上債権の減少等による収入があった一方で、棚卸資産の増加、未払金の減少等による支出があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは主にソフトウェアの取得により734百万円の支出（前年同期は825百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、ストックオプションの行使により18千円の収入（前年同期は111百万円の支出）となりました。

以上のほか為替換算差を含め、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は4,482百万円（前年同期末は5,162百万円）となりました。

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	714	182	△532
投資活動によるキャッシュ・フロー	△825	△734	+91
財務活動によるキャッシュ・フロー	△111	0	+111
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△205	△559	△354
現金及び現金同等物の期首残高	5,368	5,042	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,162	4,482	—

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月9日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。詳細につきましては、本日公表いたしました「2026年3月期第2四半期（中間期）業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,042,128	4,482,532
受取手形及び売掛金	2,452,445	1,910,433
仕掛品	3,578	215,791
未収入金	797,070	933,396
その他	417,884	549,642
貸倒引当金	△68,604	△54,064
流動資産合計	8,644,503	8,037,731
固定資産		
有形固定資産	491,757	503,315
無形固定資産	983,150	1,463,978
投資その他の資産	1,009,496	1,109,931
固定資産合計	2,484,404	3,077,224
資産合計	11,128,907	11,114,956
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	129,950	105,747
短期借入金	1,200,000	-
未払法人税等	5,275	3,409
賞与引当金	443,317	330,830
ポイント引当金	7,607	12,312
事業構造改善引当金	47,190	-
未払金	1,450,679	1,209,449
資産除去債務	15,634	-
その他	347,848	528,428
流動負債合計	3,647,504	2,190,177
固定負債		
長期借入金	2,200,000	3,400,000
資産除去債務	221,598	222,297
その他	81,793	121,246
固定負債合計	2,503,392	3,743,543
負債合計	6,150,897	5,933,721
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	5,529,704	5,502,562
利益剰余金	230,160	359,159
自己株式	△1,088,584	△1,048,858
株主資本合計	4,771,280	4,912,864
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89,352	175,175
為替換算調整勘定	66,031	57,435
その他の包括利益累計額合計	155,384	232,611
新株予約権	18,770	4,968
非支配株主持分	32,575	30,791
純資産合計	4,978,010	5,181,234
負債純資産合計	11,128,907	11,114,956

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	5,978,695	6,374,640
売上原価	1,933,116	2,447,844
売上総利益	4,045,578	3,926,795
販売費及び一般管理費	3,767,048	3,821,792
営業利益	278,530	105,002
営業外収益		
受取配当金	3,000	4,000
違約金収入	11,553	4,371
固定資産受贈益	-	7,892
その他	12,528	16,659
営業外収益合計	27,082	32,923
営業外費用		
支払利息	11,412	30,067
コミットメントフィー	5,013	3,008
株式報酬費用	20,162	3,615
その他	2,892	8
営業外費用合計	39,482	36,699
経常利益	266,130	101,226
特別利益		
投資有価証券売却益	-	30,555
その他	-	1,236
特別利益合計	-	31,791
特別損失		
投資有価証券評価損	896	-
特別損失合計	896	-
税金等調整前中間純利益	265,234	133,018
法人税等	17,298	3,589
中間純利益	247,936	129,429
非支配株主に帰属する中間純利益	-	430
親会社株主に帰属する中間純利益	247,936	128,998

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	247,936	129,429
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31,765	85,823
為替換算調整勘定	24,576	△10,810
その他の包括利益合計	△7,188	75,012
中間包括利益	240,747	204,441
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	240,747	206,225
非支配株主に係る中間包括利益	-	△1,784

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	265,234	133,018
減価償却費	96,777	248,328
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△20,485	△14,539
受取利息及び受取配当金	△4,026	△9,288
支払利息	11,412	30,067
賞与引当金の増減額(△は減少)	△142,194	△112,487
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△9,492	4,704
事業構造改善引当金の増減額(△は減少)	-	△47,190
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△30,555
投資有価証券評価損益(△は益)	896	-
売上債権の増減額(△は増加)	1,191,823	541,427
棚卸資産の増減額(△は増加)	△182,052	△213,949
仕入債務の増減額(△は減少)	6,990	△24,202
契約負債の増減額(△は減少)	251,323	216,407
前払費用の増減額(△は増加)	△122,137	△126,411
未収入金の増減額(△は増加)	△50,145	△136,369
未払金の増減額(△は減少)	△640,711	△236,535
預り金の増減額(△は減少)	△60,345	△23,450
未払消費税等の増減額(△は減少)	52,287	△6,350
その他	86,480	18,437
小計	731,635	211,059
利息及び配当金の受取額	5,735	9,288
利息の支払額	△11,453	△32,236
法人税等の支払額	△11,168	△5,455
営業活動によるキャッシュ・フロー	714,749	182,656
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△29,991	-
投資有価証券の売却による収入	-	30,555
有形固定資産の取得による支出	△346,266	△70,801
資産除去債務の履行による支出	-	△15,634
ソフトウェアの取得による支出	△450,209	△672,053
敷金及び保証金の差入による支出	△2,979	△7,458
敷金及び保証金の回収による収入	3,855	1,376
投資活動によるキャッシュ・フロー	△825,590	△734,015
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	-	△1,200,000
長期借入れによる収入	-	1,200,000
配当金の支払額	△108,000	-
リース債務の返済による支出	△3,651	-
その他	-	18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△111,651	18
現金及び現金同等物に係る換算差額	16,931	△8,254
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△205,561	△559,595
現金及び現金同等物の期首残高	5,368,002	5,042,128
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,162,441	4,482,532

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結会社において当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社グループは、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

当社グループは、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
飲食店販促サービス(ストック型サービス)	4,436,701	4,799,307
飲食店販促サービス(スポット型サービス)	653,568	558,742
プロモーション	385,039	415,900
関連事業	503,385	600,690
顧客との契約から生じる収益	5,978,695	6,374,640
外部顧客への売上高	5,978,695	6,374,640